復興県民会議

被災者本位の一日も早い復旧・復興を

(発行) 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

 \mp 0 2 0 - 0 0 1 5

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル 5F いわて労連内

625 - 9191

FAX 019 - 654 - 5092

eメール fukkou_ikg@fukkoukaigi.jpn.org

No. 40 (2019/10/25)

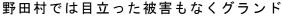
災害復旧を支援しよう

いわて労連は、10月22日、台風19号被害の現地調査を行いました。朝9時にいわて労連を出発し、久慈市から山田町船越の田の浜まで現地を視察しました。久慈市と普代村では、それぞれ災害ボランティアセンターを訪問し、活動状況を伺いました。途中、雨で辺りも暗くなったため、やむなく山田町から盛岡に戻りました。総走行距離は380kmでした。久慈市内は



午前のボランティア活動から 戻る中学生(久慈市)

長内地区で河川が氾濫し住宅地に泥水が 上がりました。橋に根こそぎ流されてき た杉の大木が突き刺さっており、台風の 脅威に驚きました。久慈市災害ボランティアが多数参加していると、 のボランティアが多数参加しているとの こと。この日も午前中の活動を終えて戻 るこどもたちを見かけました。





斜面の土砂崩れをブルーシートで応急処置



橋に突き刺さる杉の木 (久慈市長内地区)



被災した家具や家財など



廃棄処分となった家財など

山側からの大量の土砂が住宅に押し寄せ、床上・床下浸水の被害が出 ています。この日も、住民の皆さんが床板をはがし、床下の土砂を土

のうに詰めて運び出す作業に追わ れていました。上普代地区は、町 の南西側にあり県道が伸びており その沢に山側から大量の土砂が押 し寄せて町を襲いました。



室蘭市の給水支援 (宮古市樫内)











堤防に土砂が堆積 (山田町田の浜)



左が堤防、右が住宅地

「道の駅た ろう」は営 業が再開さ......



ドレールが流されている (普代村上普代)

れていました。トイレだけは仮設のままでした。宮 古市田老の樫内団地には、室蘭市から給水支援が行 われたが、1週間ぶりに断水が解除されたとのこと。 山田町船越の田の浜地区は、山側から押し流された 泥流が堤防で滞留し住宅に被害を及ぼしました。

被災市町村で災害ボランティアセンターを開設し .. ています。 ぜひ、 皆さんのご協力をお願いいたします。